

～プログラム～

記念講堂

開会の辞 9:00～

理事長 椿原 彰夫(川崎医療福祉大学 学長)

1 : 基調講演 9:10～9:50

座長 : 椿原彰夫(川崎医療福祉大学 学長)

「地域包括ケアシステムと医療介護連携

～今後の地域リハビリテーションと寝たきりゼロ、介護予防をふまえて～

講師 : 広島県地域包括ケア推進センター センター長 山口 昇先生

記念講堂

2 : パネルディスカッション 10:00～11:40

座長 : 藤本宗平先生(岡山県老人保健施設協会 会長) / 堀部 徹先生(岡山県介護支援専門員協会 会長)

「地域包括ケアシステム成功の鍵となる街づくり」

1. 「介護予防の充実に向けた社会環境へのアプローチとリハビリテーション専門職の役割」

講師 : 安本勝博先生 津山市健康増進課 主幹 (OT)

2. 「個別会議における多職種協働を通じて地域包括支援ネットワークをめざす ～地域ケア会議, 医療職・ケアマネジャーとの連携会議を用いて～」

講師 : 天野照美先生 倉敷市真備高齢者支援センター 主任ケアマネジャー

3. 「在宅チームにおける看護師の役割」

講師 : 江田純子先生 みつ訪問看護ステーション看護協会

統括アドバイザー (看護師)

4. 「歯科医師として思う地域包括ケアシステムへの参画と街づくりで大切なこと

～18年間の倉敷市在宅ねたきり者等歯科訪問健康診査事業を通して～

講師 : 近藤 康弘先生 倉敷歯科医師会 会長

5. 「いつまでも我家に住む」

講師 : 中山裕里香先生 建築工房くらし二級建築事務所(手すりの会) 建築士

6. 「福祉通貨を活用した「サロンなんだ村」の紹介」

講師 : 八田和明先生 NPO 法人村と灘崎ボランティアネット 理事長

指定発言 : 倉敷リハビリテーション病院 名誉院長 遠藤 浩先生

3 : 特別講演 I 12:40~13:40 座長 : 江澤和彦先生(岡山県医師会 理事)

「地域包括ケアシステムと介護保険」

講師 : 元厚生労働省老健局長 三浦 公嗣先生

4 : 一般演題 13:50~17:05

(1) 口頭発表(スライド)

1. 多職種連携 13:50~14:50 座長 : 石本傳江(岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 会長)

1. 「寝たきり、日中独居の方でも「我が家が一番」
ヘイセイ訪問看護ステーション 濱田ゆりか
2. 「在宅医療における連携について考える一事例から」
創心会訪問看護リハビリテーション 宇野百合子
3. 「多職種連携・協働(IPW)の実現に向けたコミュニティワーカー育成と多職種連携尺度の評価」
児島中央病院 安田浩二
4. 「多職種連携で嚥下機能の向上を図るために重要なこと」医療法人青木内科小児科医院 あいの里クリニック・歯科
山本道代
5. 「当院における退院後訪問の取り組み」
国立病院機構岡山市立金川病院 志摩雅昭
6. 「生活期リハビリテーションにおける医療から介護への多職種連携の実際」
医療法人おまち整形外科医院 地域リハビリテーションセンター 石井勇貴

2. システムの普及 15:00~16:00 座長 : 福嶋啓祐先生(岡山プライマリ・ケア学会 会長)

7. 「認知症高齢者の無縁・孤立化社会の実情」 医療法人福嶋医院 指定居宅介護支援事業所いるか 中野美子
8. 「12 地域ケア会議・個別ケース会議」
倉敷市 玉島南高齢者支援センター 阪本美和
9. 「総合相談・地域支援部における地域包括ケアシステムを推進するための取組」
倉敷リハビリテーション病院 総合相談・地域支援部 吉田直樹
10. 「ケアステーション事業の取り組み」
公益社団法人岡山県栄養士会 坂本八千代
11. 「鏡野町の地域包括ケアシステムを築くために常設する医療・介護保険・社会福祉事業経営者会議(オーナーズ会議)の意義」
一般財団法人共愛会 デイサービスみもこころ 米井浩太郎
12. 「岡山県薬剤師会在宅介護特別委員会の取り組み」
岡山県薬剤師会 在宅介護特別委員会 岩野寛樹

3. 連携シート等 16:05~17:05 座長 : 阿部泰昌(川崎医科大学リハビリテーション医学教室 講師)

13. 「介護連携シート倉敷版 「ICT版」作成の経緯」
創心会居宅介護支援センター倉敷 佐藤健志
14. 「「草の根活動」を通して見えてきた医療連携活動の報告」
NPO 法人岡山県介護支援専門員協会 瀬川貴弘
15. 「岡山市における「自分らしく生き、自分らしい納得のいく最期を迎えられるまち」の実現を目指す取り組み
~岡山市版アドバンス・ケア・プランニング(ACP)策定に向けて」
岡山市保健福祉局医療政策推進課 大谷哲子
16. 「地域包括支援センター委託事業評価の試み」
総社市保健福祉部長寿介護課 中村敏恵
17. 「介護支援専門員に求められる倫理 - 「秘密保持」を考える -」
特定非営利活動法人岡山県介護支援専門員協会 倫理綱領委員会 守屋真季
18. 「岡山県真庭市における失語症者の実数調査」
川崎医療福祉大学 種村純

5 : 閉会の辞 17:10~ 理事長 椿原 彰夫(川崎医療福祉大学 学長)

(2) ポスター発表 (口頭発表)

多目的ホール

A. 多職種連携 A-1 13:40~14:50

座長：藤井基弘先生 (藤井クリニック院長)

1. 「当法人内における職種間連携の取り組みによって、身体機能改善を認めた1症例」
社会医療法人全仁会 ヘルシイ訪問看護ステーション 三木真奈美
2. 「生活行為目標が達成し通所リハビリテーションを卒業した事例」
老人保健施設エスペランスわけ 両部善紀
3. 「認知症の方における、児童とのふれあいの効果分析」
創心会五感リハビリ倶楽部茶屋町 浦道さとみ
4. 「地域における言語聴覚士の現状 - 他職種への調査から -」
介護老人保健施設あいの里リハビリ苑/あいの里クリニック 齋藤真実子
5. 「ケアマネさんお薬手帳に名刺を入れてください♪～ローズマリーの取り組み～」
そうごう薬局笹沖店 岡野泰子
6. 「自動車運転再開に向け他機関と連携をおこなったマネジメントの報告」
倉敷リハビリテーション病院 尾藤真奈美
7. 「脳卒中患者の自動車運転における他職種連携の実践」
岡山リハビリテーション病院 酒井英顕

A. 多職種連携 A-2 14:50~15:50

座長：青木佳之先生 (岡山県地域包括・在宅支援センター協議会 会長)

8. 「個別プラン検討における管理栄養士の役割」
医療法人青木内科小児科医院 あいの里クリニック 森光大
9. 「8年目の気づきの事例検討会「きのこの会」」
居宅介護支援事業所アール・ケア 二宮崇
10. 「地域連携を踏まえた短時間デイケアでの取り組み」
内田整形外科医院 初岡寛幸
11. 「作業療法士をはじめとする多職種連携による、発達障がい者支援の地域ネットワークづくり」
株式会社 ハートスイッチ 宇野京子
12. 「瀬戸内市での多職種連携の取り組み ～顔が見えるネットワーク作り～」
在宅介護支援センター AJISAI 米盛宏康
13. 「多事業所が連携できるリハビリテーション会議をめざして～アンケート調査結果から～」
岡山リハビリテーション病院 浅野恵

A. 多職種連携 A-3 15:50~17:00

座長：木村 丹先生 (木村医院 院長)

14. 「北児島地区における地域包括ケアシステムを進めるための取り組み」
北児島ケアネット運営事務局 丸田康代
15. 「医療対応・機能回復型サ高住の意義」
株式会社NCM サービス付き高齢者向け住宅 アップルウッド 西大寺 櫻井謙治
16. 「水島地域連携ネットワークの取り組みと今後の展望」
水島第一病院 櫻井 利紗
17. 「早島町の自主的な介護予防活動 ～体操の普及・継続に向けて～」
岡山県立大学大学院 石井美帆
18. 「「地域で行う糖尿病重症化」の取り組み」
公益社団法人岡山県栄養士会 中山敏子
19. 「医療連携に向けて岡山県介護支援専門協会浅口支部の取り組み」
寿光園居宅介護支援事業所 池之上章
20. 「高梁市における医療と介護の連携 連携のツール「やまぼうし」の現状について」
岡山県介護支援専門員協会高梁支部 草野貴史

B. 事例 B-1 13:40~14:50

座長：高尾肇先生 (岡山県介護支援専門員協会 副会長)

21. 「要介護認定者のインターネット活用に関する取り組み」
(株)西日本ファーマシー 介護事業部 津川義弘

22. 「他者との繋がりの継続～事例の退院支援を通して～」 岡山リハビリテーション病院 清水広士
23. 「「自宅復帰困難」と思われた利用者が「在宅生活可能」となった事例」 創心会訪問看護リハビリテーション塩見拓也
24. 「若年性認知症利用者への就労アプローチ」 創心会リハビリ倶楽部茶屋町 信原由佳
25. 「店番と言う役割の再獲得に繋がった事例」 創心会訪問看護リハビリテーション 青木貴嗣
26. 「就労を目指す方に対する通所介護でのアプローチ」 創心会リハビリ倶楽部築港 湯浅純也
27. 「本人の興味関心をヒントに支援展開した、就労支援の事例」 創心会リハビリ倶楽部中洲 藤田寛也

B. 事例 B-2 14:50～16:00

座長：國安勝司先生(岡山県理学療法士会 会長)

28. 「経口摂取継続を目指して～最期まで口から食べたいという希望を叶えるために～」
社会福祉法人全仁会 地域密着型特別養護老人ホーム ピースガーデン 眞壁忍
29. 「退院後低栄養状態の利用者に対する短期集中リハビリテーションと栄養管理」
あいの里クリニック通所リハビリテーション 長畑雄大
30. 「放課後等デイサービス利用にて」 創心会児童発達支援ルーム心歩茶屋町 西江 勇太
31. 「高リスクなALS患者の在宅退院支援から学んだこと～家族の意思決定支援の重要性～」
医療法人社団玄同会小島病院 小川育恵
32. 「当老健施設のリポート利用により身体・認知機能の維持を図りながら、在宅生活を継続している事例の紹介」
社会医療法人 全仁会 倉敷老健 檀上香
33. 「前頭側頭型認知症による反社会的行動に対して視覚コミュニケーション手段が与える影響について」
社会医療法人 全仁会 倉敷老健 中山風香
34. 「介助指導への参加協力が乏しい在宅希望の家族に対する支援の一例」 倉敷リハビリテーション病院 内田あい

B. 取り組み B-3 16:00～17:10

座長：檜原伸二先生(岡山県作業療法士会 会長)

35. 「参加者でつくる地域一体型糖尿病予防教室の取り組み」 赤磐医師会病院 草谷悦子
36. 「管理栄養士による訪問介護員資質向上のための研修事業の取り組み」
公益社団法人岡山県栄養士会 松下暢子
37. 「在宅向け高齢者／病者用食品の取扱の現状と食品事業者の役割」 中国学園大学現在生活学部 大宮めぐみ
38. 「訪問リハビリテーションの効果的な終了の在り方について」
医療法人おまち整形外科医院地域リハビリテーションセンター 藤原圭介
39. 「当施設での通所リハビリテーションの変革」 介護老人保健施設 南岡山ナシング通所リハビリテーション 森謙二
40. 「当院デイサービスにおける機能訓練と療法士のかかわり」 医療法人社団玄同会小島病院 大源 政也
41. 「鏡野町における地域包括ケアシステムの構築」 鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会 片岡栄利子

C. 社会参加 C-1 13:40～14:40

座長：吉田昌司先生(倉敷市健康福祉部 参与)

42. 「おはぎを作って食べたいなあ・・・～その思いに寄り添いながら～」
社会医療法人清風会日本原病院 佐藤洋子
43. 「ケアマネサロンの取り組み」 天神荘指定居宅会議支援事業所 浅野都
44. 「生活行為向上リハビリテーションの実践」 医療法人おまち整形外科医院 地域リハビリテーションセンター 井上慶一
45. 「外出支援という目標指向的アプローチの提案」 とみタクシー 富田康夫
46. 「脳血管障害を既往に持つ高齢者における外出頻度への影響因子」
社会医療法人 全仁会 倉敷老健通所リハビリテーション 大榮勇貴

47. 「保育園児に対する読み聞かせが通所リハビリテーション利用者の心身機能に及ぼす影響について」

社会医療法人 全仁会 倉敷老健通所リハビリテーション 大西康予

C. 街づくり・その他 C-2 14:40~15:50

座長：佐藤涼介先生(佐藤医院 理事長)

48. 「切れ目のない支援を目指して ～入退院時連携リフレット～」

新見市在宅医療・介護連携支援センター まんさく 松本信一

49. 「介護予防教室に参加しての一考察～仲間作りを意識した取り組み～」

有限会社キャンパス 訪問看護ステーションおれんじ 黒川洋輔

50. 「生活支援センターみつばち 誕生から6年間の軌跡」

居宅介護支援事業所 風まくら 岡部久美子

51. 「ローズマリーの会の取組 認知症になっても暮らせる地域づくりのために専門職のできることに」

そうごう薬局笹沖店 岡部千賀子

52. 「認知症予防 地域とともに」

柏台デイサービスセンター 風の家 森脇洋

53. 「小規模デイサービスが運営推進会議を開催して見えてきた事」

有限会社キャンパス スポーツテイタンばら 宇佐裕次

54. 「パーソン・センタード・ケア(PCC)の研修と、ひもときシートを用いたカフェイン実施が通所リハビリテーション職員におけるPCC

理解度に及ぼす影響」

社会医療法人全仁会 倉敷老健通所リハビリテーション 叶智子

C. 利用者評価・その他 C-3 15:50~17:00

座長：小泉立志先生(岡山県老人福祉施設協議会 会長)

55. 「短時間型通所リハビリテーション新規利用者の抑うつ状態についての一報」

りゅうそうクリニック 松村卓典

56. 「瀬戸内市での介護予防の取り組み」

瀬戸内市立 瀬戸内市民病院 和氣武史

57. 「介護予防施策強化の為にE-SASの導入による現状把握と展望について」

ピースガーデン倉敷 リハビリテーションピース 河本純希

58. 「当院通所リハビリ利用者者の栄養状態と身体機能の関連性」

社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 通所リハビリテーション 隠明寺悠介

59. 「同一法人内事業所連携の強み ～看取りを通じた多職種連携～」

株式会社アルケア サービス付き高齢者向け住宅ハーヴイスト 滝澤直樹

60. 「サービス付き高齢者向け住宅「芦花(ろか)」における看取りを経験して」

サービス付き高齢者向け住宅芦花 前原千景

61. 「突発的な天候不良時に通所サービス利用者の安全な送迎についての検討」

社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 通所リハビリテーション 小野恵美

5: 閉会の辞 17:10~

理事長 椿原 彰夫(川崎医療福祉大学 学長)